

2019 年度
マンスリーレポート No. 57

12月1日～5日、第46回医学教育者のためのワークショップ(日本医学教育学会主催、通称 富士研)が開催され、山田が参加した(湘南国際村センター)。

12月3日、柏木が教職員を対象にした電子シラバス(Moodle)の講習会を行った。

12月6日、教務事務研究会(日本私立医科大学協会)が開催され、安達が「学生のための多職種連携」を講演した(久留米大学)。

12月7日、柏木が第4学年・第5学年の合同学習会で国家試験問題の解説を行った。

12月9日、共用試験 CBT(再試)が実施され、柏木がサイトマネージャーを担当した。

12月10日、臨床実習前演習(PCCE)が始まり、山田が全体説明を担当した。臨床技能訓練の責任者・担当者会議があり、山田と片山が説明し、ステーションごとに協議した。柏木がG-Project(久留米大学・久留米高専の共同研究)の打合せを行った。

12月11日、教授会議で卒業判定が審議され、卒業試験 A/B/C の結果、138人中81人(59%)が合格、57人が再試験(1月4日)となった。PCCEの専門職連携教育(IPE)について、山田が古村教授(看護学科)と最終的な打合せを行った。

12月12日、行動科学部会(谷原真一部会長)が開催され、来年度の行動科学は JACME 評価チームの提言を受けて、狭義の行動科学(行動医学や健康行動学)を第4学年で系統的に学び(担当は公衆衛生山内圭子講師)、従来の医学概論(医道/医術/医心)は第2学年前期、チーム医療や多職種連携は第2学年後期、医療倫理学は第3学年で網羅的に学ぶことにした。

12月16日、臨床実習前演習(PCCE)で臨床実習見学(4年生が5年生に密着随行)が行われ、山田が全体協議を担当した。

12月17日、臨床実習前演習(PCCE)で専門職連携教育(IPE)が行われ(医学部で初めて)、山田が医学科看護学科合同授業「事例に基づく協同学習」、安達が「職場訪問」を担当し、柏木が新しい出欠管理システムの実証実験を指導した。

12月18日～19日、臨床実習前演習(PCCE)で臨床技能訓練(7コース)が行われ(トレセン)、山田と片山が全体を統括した。

12月20日、教務課と教務教育忘年会を開催した(会場はロイズキッチンで参加13人)。

12月25日、教授会議で第4学年の進級判定があり、2人が共用試験 CBT を含む学力不足、1人が OSCE 再試未受験で留年となり、1～3月は別プログラムで勉強することが決まった。

12月26日、山田が整形外科の医局で臨床研修セミナー・専門医試験対策講義「筋電図と末梢神経伝導検査」を行った。

*クリニカルスキル・トレーニングセンターで開催されたイベントは次のとおり。

12月1日、第4回久留米大学医療センターICLS講習会(医療センター)*

12月6日、がん看護学実習I前演習(看護学科)

12月6日、病棟勉強会・演習:血液感染と輸血ルートの管理について(感染制御部)

12月7日、筑後看護塾(筑後地区救急クリティカルケア研究会)*

12月8日、呼吸器ケア勉強会(病棟看護師)*

12月16日、17日、看護学科4年生:看護総合演習(医学部看護学科)

12月18日、19日、PCCE（医学部医学科）

12月19日、外科縫合トレーニング（臨床研修医）

12月23日、フィジカルアセスメント、BLS勉強会・演習（医療センター看護師）

12月25日、看護学科総合演習（医学部看護学科）

12月10/11/18/19/24/25/26日、ロボット支援下手術シミュレータトレーニング（外科医師）

12月3/4/9/23日、導尿実習OJT（病棟看護師）

12月3/12/26日、一次救命処置講習会（救急蘇生小委員会）

*は土日の開催

文責：安達洋祐